

杉戸町国際交流協会だより

# すぎとっち

Vol.25  
2017/05/27  
広報委員会

SUGITO INTERNATIONAL ASSOCIATION

## 姉妹都市提携 20 周年記念式典

杉戸町とオーストラリア・バッセルトン市（当時バッセルトンシャイヤー）は、平成 8 年（1996 年）11 月 19 日に姉妹都市協定を締結し、平成 28 年に 20 周年を迎えました。これを受け、去る平成 28 年 10 月 30 日（日）に開催された「杉戸宿開宿 400 年宿場まつり」において、「杉戸町・バッセルトン市 姉妹都市提携 20 周年記念式典」を挙行了しました。

式典には、バッセルトン市長、バッセルトン市 CEO（首席行政職員）のほか、西オーストラリア州議会議長も参列し、20 周年記念の友好調印を行ったほか、甲冑や着物などの衣装に身を包んで「杉戸宿時代行列」にも参加しました。

平成 29 年 1 月には、バッセルトン市においても「姉妹都市提携 20 周年記念式典」が開催され、古谷町長は、「20 年の足跡を振り返りながら、この先の未来を一緒に描きたい。友好と信頼の絆が、さらに深まることを願っている」と祝辞を述べました。



## バッセルトン市平和首長会議に加盟

平成 28 年 10 月 28 日（金）、核兵器の廃絶を呼びかける自治体で構成される平和首長会議に加盟するため、姉妹都市である西オーストラリア州・バッセルトン市のグラント・ヘンリー市長が、古谷町長とともに広島市の松井市長を表敬訪問しました。ヘンリー市長が平和首長会議への加盟申請書に署名したほか、バッセルトン市の小学生が制作した千羽鶴を松井市長に直接手渡しました。

杉戸町とバッセルトン市は、20 年間に渡る、住民相互の親善訪問や中学生海外交流など様々な活動を行ってきました。近年バッセルトン市は『平和都市宣言』を掲げる当町の平和推進施策に関心を寄せるようになり、平成 28 年 5 月、平和首長会議への加盟に関する議案がバッセルトン市議会において可決され、姉妹都市交流 20 周年に合わせて、世界平和の実現へと向けた新たな第一歩をともに踏み出す運びとなりました。



## 姉妹都市バッセルトン親善訪問団を受入

平成 28 年 10 月 30 日（日）「杉戸宿開宿 400 年宿場まつり」では、県知事さんをはじめ、オーストラリアのバッセルトンより州知事さん等、多勢の訪問団の方々をお迎えし盛大に開催されました。

当日は晴天にも恵まれ道路も 9 時から 4 時頃まで歩行者天国となり、多勢の見学者も出かけられ、1 時過ぎには、宝性院よりそれぞれ江戸時代の様々な服装をした方々が農協のところまで行進され、とてにぎやかに、そして厳かに行われました。

また、杉戸町宣伝大使の虻川美穂子さんも参加されました。

祭りの最後に 400 個の風船を飛ばし、澄みきった秋の青空の中にすいこまれていきました。

次の日、バッセルトン杉戸姉妹都市協会会長のポーリンさんをはじめ 3 名の訪問団の方々と日光方面への旅行に出かけ、東照宮等を見学され鬼怒川に一泊し、また、11 月 2 日（水）は、前に委員会で勉強した杉戸宿の名所を見学され、有意義にお過ごしいただけたのではないかと思います。姉妹都市委員会 田沼統子



## 第1回 国際協力・理解講座『杉戸町平和企画展』

平成28年6月22日(水)から6月26日(日)の間、「カルタスすぎと」において平成28年度杉戸町平和企画展が杉戸町主催、杉戸町国際交流協会共催で開催されました。

オープンギャラリーにおいて闘病するイラクの子供たちが描いた絵画・写真・模型などの展示、最終日の26日(日)は多目的ホールにおいて「戦争の傷跡～白血病と戦うイラクの子供たち～」をテーマにした講演会が、日本イラク医療支援ネットワーク事務局長、佐藤真紀氏により行われました。

白血病の原因として、1991年(平成3年)湾岸戦争で使用された「劣化ウラン弾」の影響が疑われています。日本では、小児白血病の8割以上が治るようになりましたが、イラクでは経済制裁などの影響もあり、多くの子供たちが適切な治療を受けられないまま尊い命が失われています。

戦争は終わっても、測り知れない悪影響を後世に残すものであり、戦争(紛争)のない平和の継続を願わずにはいられない企画展でした。

最後に企画展の運営に際し、昌平高等学校の生徒の皆様にご多大なご協力を頂いたことに感謝いたします。

国際化推進委員会 岡田克己



## 第2回 国際協力・理解講座『イラク共和国大使館訪問』～バス研修ツアー～

平成28年12月8日(木)カルタスすぎとの駐車場を8時に出発し、圏央道からひと時の休憩をはさみイラク共和国大使館に10時30分に到着。1時間30分、大使代理の話を通訳を介して興味深くお聞きしました。

緑豊かなイラクの国は長い歴史があり、今日まで、波乱万丈な歴史を繰り返し、その中をたくましく、穏やかに暮らしているやさしい国民性を感じさせる話を聞くことができました。

途中でふるまわれたハーブティ、3種類のピザは香りゆたかで、イラクの食文化を感じることができました。昼食は目黒雅叙園のランチバイキングをおいしくいただきました。昼食後、東京税関を見学し、いろいろな危険物など、水際で防いで頂いている税関職員に感心しながら、いろんな仕事の効率化に驚きました。

時間的に実際の検閲作業が見られなかったのが、少し残念でした。

国際化推進委員会 渡辺真理子



## 第3回 国際協力・理解講座『イラクについて学ぼう』

平成29年2月25日(土)杉戸町立西公民館にて第3回国際協力・理解講座を開催しました。昨年12月のイラク大使館訪問と関連してイラクについて学ぶ講座で「日本イラク医療支援ネットワーク(JIM-NET)」事務局長の佐藤真紀氏の講演をいただきました。

講座の前半はイラクの国旗クイズから始まり、アラブ世界ではお酒はご法度と一般に思われているが「アラック」と呼ばれる伝統的な蒸留酒があること、イラク料理の「バーチャ」の紹介、民族楽器ウッドなど、イラクの庶民生活や文化についてスライドで紹介されました。

後半はイラクで一般的に飲まれているカルダモン紅茶とデザート(ナツメヤシの実を乾燥させたドライフルーツ)などの味を楽しみました。佐藤氏が所属のJIM-NETが支援するイラクのがん患者の子供達の現状も紹介され、国際協力・理解を深める講座となりました。

国際化推進委員会 篠原千代子





## ボトルフラッシュ料理教室

姉妹都市バスセルトンからの皆さんを受け入れる際に役立つような献立を考え、年2回開いている料理教室です。今回は、主菜、副菜、スープ、ケーキの4品を作りました。和洋中華からエスニックなものまで、しかも手軽に作れるものを選んでいたので、毎日の献立にも役立ちます。食材の意外な使い方に驚いたり、今まで買うものだと思っていたのに意外と容易に作れたり、いつも新しい発見があります。レシピに沿って、皆さんと一緒に料理を作り試食するのは、とても楽しいひとときです。家に帰ってまた作ってみたいと思っていただけるような献立を考えていきたいです。

姉妹都市委員会 村上治美



## 第1回姉妹都市交流研修会 「外国人と歩く杉戸宿」

平成28年5月22日(日)、好天に恵まれ一同22名はアメリカ、中国からのメンバーに加え新聞社からの記者も参加し、杉戸宿案内人の会2名の引率のもと二班に分かれ9時00分定刻に町役場を出発しました。杉戸町のメインストリートは車で往復するのが普通なので、歩いてみると400年の歴史が私共に伝えることは膨大であり、案内人の方が懇切丁寧に語り伝えてくれるのには、いかばかりの苦労があったろうと推察するのも息苦しい程でした。

昔ながらのお蕎麦屋さんの前でその歴史を語られると、百年も昔にタイムマシーンに乗って移転したような感じがしました。

伝統あるお寺、神社、豪邸のお庭をのぞき見、明治天皇の休憩跡、昔々の道路里程標、高札場予定場所、ある神社でツェペリン飛行船のプロペラの保管が丁寧になされているところなど、あとからあとから覚えるには少しならず神経を痛めることになりそうでした。

歩行距離はさほどではなくガイドさんの心遣いもあり適当に休憩をとりながら、あるお寺ではお茶のご配慮を頂いたりして、約三時間の歴史深訪が終わるころには参加者お互いが打ち解けてきたようでした。発見の多い意義ある一日でした。

姉妹都市委員会 林 宣夫



## 第2回姉妹都市交流研修会 「フェイスブック初心者講習」

前々から若い人の間で流行っていると聞いて興味があったのとオーストラリアのバスセルトンとの交流のページにも繋がれると言うので特にやりたくなりました。友達というボタンを開くと知っている人の名前が大勢ありました。私の息子の名前もありビックリ、私はその名前を開いてみました。家に帰ると「お母さんから友達の申請があったよ」と言われました。私は始めたばかりのFacebookなのになぜ「知り合いかも」という欄に知り合いが沢山表示されるのか不思議でした。聞くところによると登録した電話番号などが関係しているようです。

私はフィジー出身の友達ダビナの名前を見つけ、友達申請してみたらすぐOKのメールが入りました。実際初めはFacebookとは何をするものなのかもわかりませんでした。知り合いの投稿で参加しているイベントや美味しいものを食べている写真を見ていつもより親近感が湧き、深く繋がれた気がします。今ダビナそしてオーストラリアのメアリーと「いいね」のやり取りをやってみました。

これからももっと挑戦してみたいです。私はSNSには縁がないと思っていましたがFacebookに知り合いが沢山いて意外にもやっている人が多いことを知りました。これを読んでくださる皆さんも良かったら私の名前で検索してみても友達になりましょう。

姉妹都市委員会 及川久子



## 日本語教室

杉戸町日本語教室が開催されるようになって、早いもので20年を迎えます。最初は昼クラスだけのスタートでしたが、今は、毎週水曜日に昼クラス・夜クラス共、開催されています。

様々な受講生の人達が、国籍や宗教の違いを乗り越えて熱心に日本語の学習に取り組んでいます。私達スタッフの側が様々な価値観に触れることができ、多くのことを教えられることも多いです。

最近では受講生の人数がスタッフの人数を上回ることも増えました。スタッフ希望の方がいらしたら、ぜひ見学に来て下さい。

国際化推進委員会 志賀千晶



## 異文化交流パーティー

平成29年3月19日(日)、西公民館多目的ホールにて異文化交流パーティーを開催しました。60名の参加でした。異文化交流パーティーは、国籍を問わず交流を深め、お互いの文化等を知り、相互理解して頂けるように企画しているものです。外国の方、姉妹都市委員にお手伝いして頂き、今年度は、ネパール、インドネシア、タイ、イラク、フィリピン、コロンビア、そして日本の料理が並び、参加された皆様には十分堪能して頂けたようです。お楽しみのビンゴゲームでは、持田会長自らお手伝い下さり盛り上がりました。なかなかビンゴにならない人が多かったのは今回の特徴でした。

外国の文化紹介としては、まずインドネシアの方たちの歌と演奏で2曲、若さと元気が表れていました。次にネパールの方たちの歌と踊りで、民族衣装を着た男の子のバックダンスがみんなの温かい笑みと拍手を誘いました。

日本の伝統文化の紹介としては、花柳流小林秀京さんに独演「浦島太郎」を披露して頂き、最後の白髪の老人への様変わりには驚きの声が上がりました。そして、「桜の変奏曲」でみんなで輪になって踊り、穏やかな雰囲気の中で幕を閉じました。

ぜひ、次年度も楽しみにして下さい。  
国際化推進委員会 嶋津桂子



## 杉戸町産業祭参加

平成28年11月3日(木・祝)、今回もアグリパークゆめすぎとで行われた産業祭に「スタンプラリー」と「バルーンアート」で参加し、広報・会員募集活動を行いました。

## 委員募集!

協会では、現在3つの委員会(国際化推進委員会・姉妹都市委員会・広報委員会)が活動していますが、あなたも一緒に楽しく活動してみませんか。どなたでも気軽に委員会にご参加ください。



## 平成28年度団体会員、法人会員の紹介

### 団体会員(6)

埼玉県立杉戸高等学校 埼玉県立杉戸農業高等学校 杉戸町体育協会 杉戸麺打愛好会小川道場  
杉戸ロータリークラブ 杉の子吹奏楽団

### 法人会員(23)

(有)青柳造園 (有)アグリパークゆめすぎと (株)和泉屋 (株)栗原建設工業 (株)斉田油店  
学校法人志学会学院志学会高等学校 学校法人昌平学園昌平中学・高等学校 (有)杉戸クリーンサービス  
学校法人藤田学園杉戸白百合幼稚園 青翔運輸(株) 大葛建設(株) (株)大三 太平ビル管理(株)  
(有)武井鶏園 中央プリント(株) 東武観光(株)杉戸営業所 (株)ハマナアーキテクツ (有)浜名造園  
NPO法人フタバ双葉保育園 細井自動車(株) (株)矢島商店 社会福祉法人椿寿会良宝園 (株)渡勝

### 積極的にご参加ください

皆さん、毎月広報すぎとの「INTERNATIONAL ま〜め〜情報」欄をご覧いただいていますか。同欄には協会の企画や活動情報が載っていますので、もっと気軽にもっと積極的にご参加ください。1人でも多くの方が参加されて、皆で国際交流の輪を作りあげていきましょう。

### 口座振替をご利用ください

当協会の運営とますますの発展のために、皆様には、会費の納入をお願い致しております。金融機関に向く手間もなくまた事務手数の面からも、ぜひ口座振替をご利用くださるようお願いいたします。

### 杉戸町国際交流協会事務局

埼玉県北葛飾郡杉戸町清地2丁目9番29号 (杉戸町住民参加推進課内)

直通電話・ファックス 0480(36)1470

E-mail sugito-int-assoc@muj.biglobe.ne.jp

ホームページ <http://www2u.biglobe.ne.jp/~sugiint>